量子論

Chef: 青木陽 (harry_arbrebleu)

1 概要

サブタイトル: 量子論の本質的理解

曜日/時限: 150 分を1コマとする. 休憩を2回挟む.

教室: 未定(主として対面だが、VC などを用いることもある)

指定図書: 清水明,「量子論の基礎」, サイエンス社

概要: 計算に埋もれがち量子論の理論体系を学んでから具体例に親しむ.

前提知識: 線型代数の計算方法.

2 計画

- (i). 第1章:「古典力学の破綻」, 第2章:「基本的な枠組み」
- (ii). 第3章:「閉じた有限自由度系の純粋状態の量子論」(1節:「基本的な考え方」から8節:「ブラとケット」まで)
- (iii). 第3章:「閉じた有限自由度系の純粋状態の量子論」(9節:「射影演算子」から16節:「連続固有値に関する数学的注意」まで)
- (iv). 第3章:「閉じた有限自由度系の純粋状態の量子論」(17節:「ボルンの確率規則―連続固有値の場合」から26節:「射影仮説について」まで)
- (v). 第4章:「有限自由度系の正準量子化」(1節:「古典解析力学」から3節:「正準交換関係のシュレディンガー表現」まで)
- (vi). 第4章:「有限自由度系の正準量子化」(4節:「フォン・ノイマンの一意性定理」から「無限次元ヒルベルト空間の注意」まで)
- (vii). 第5章: 「1次元空間を運動する粒子の量子論」(1節: 「1次元空間を運動する粒子のシュレディンガー方程式」から9節: 「重ね合わせの例」まで)
- (viii). 第5章: 「1 次元空間を運動する粒子の量子論」(10 節: 「不確定原理のよる基底準位の見積もり」から16 節: 「調和振動子」まで)
 - (ix). 第6章: 「時間発展について」, 第7章: 「場の量子論―場の量子論入門」
 - (x). 第8章:「ベルの不等式」, 第9章:「基本変数による記述のまとめ」

3 関連ゼミ

解析力学: 担当者: 增田 悠人 (y.masu)

関数解析: 担当者: 大黒 瑠海空 (luke_0404) 線型代数: 担当者: 佐々木 優真 (momoyuu) 実解析: 担当者: 大黒 瑠海空 (luke_0404)